

正味財産増減計算書

令和5年7月1日から令和6年6月30日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	206	202	4
特定資産受取利息	206	202	4
受取入金	50,000	70,000	△ 20,000
受取入金	50,000	70,000	△ 20,000
受取会費	4,328,000	4,612,000	△ 284,000
受取会費	4,328,000	4,612,000	△ 284,000
事業収益	224,659,241	213,654,414	11,004,827
嘱託登記事業収益	224,659,241	213,654,414	11,004,827
雑収益	77,909	47,658	30,251
受取利息	286	213	73
雑収益	77,623	47,445	30,178
経常収益計	229,115,356	218,384,274	10,731,082
(2) 経常費用			
事業費	211,377,032	204,160,982	7,216,050
役員報酬	333,521	330,640	2,881
退職給付費用	6,375,466	6,101,213	274,253
福利厚生費	287,499	179,460	108,039
旅費交通費	562,789	553,614	9,175
通信運搬費	702,304	449,041	253,263
消耗品費	262,314	297,110	△ 34,796
印刷製本費	461,486	1,359,620	△ 898,134
賃借料	116,600	68,200	48,400
貸付リース料	660,000	913,575	△ 253,575
支払リース料	16,216	16,716	△ 500
保険料	359,200	364,930	△ 5,730
業務処理費	196,882,706	188,015,901	8,866,805
租税公課	2,162,302	1,457,984	704,318
雑償却費	138,830	22,000	116,830
減価償却費	2,055,799	4,030,978	△ 1,975,179
管理費	11,682,020	10,134,296	1,547,724
役員報酬	655,669	617,260	38,409
退職給付費用	1,725,507	1,651,281	74,226
福利厚生費	77,811	48,570	29,241
福会費	222,318	201,335	20,983
旅費交通費	353,740	125,009	228,731
通信運搬費	500,128	176,959	323,169
消耗品費	1,331,426	1,306,715	24,711
印刷製本費	350,440	388,110	△ 37,670
賃借料	47,480	82,200	△ 34,720
貸付リース料	660,000	660,000	0
支払リース料	16,216	16,716	△ 500
保険料	45,000	41,250	3,750
業務処理費	3,515,331	2,888,182	627,149
諸謝金	885,500	896,500	△ 11,000
租税公課	121,598	77,916	43,682
負担金	824,000	655,750	168,250
接待交際費	137,958	12,000	125,958
支払利息	0	0	0
雑償却費	177,950	210,348	△ 32,398
減価償却費	33,948	78,195	△ 44,247
経常費用計	223,059,052	214,295,278	8,763,774
評価損益等調整前当期経常増減額	6,056,304	4,088,996	1,967,308
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	6,056,304	4,088,996	1,967,308
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,056,304	4,088,996	1,967,308
一般正味財産期首残高	50,867,275	46,778,279	4,088,996
一般正味財産期末残高	56,923,579	50,867,275	6,056,304
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	56,923,579	50,867,275	6,056,304

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

建物	定額法による償却によっている
什器備品	定率法による償却によっている
ソフトウェア	定額法による償却によっている

#### (2) 引当金の計上基準

退職給付引当金 給与規定に基づき定めた支給基準により、設定している

#### (3) 消費税等の会計処理

税込処理によっている

### 2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	3,420,450	365,310	0	3,785,760
事故対策引当資産	3,700,000	0	0	3,700,000
財務調整積立資産	1,500,000	0	0	1,500,000
減価償却引当資産	1,010,000	0	0	1,010,000
関プロ総会準備引当資産	800,000	0	0	800,000
合計	10,430,450	365,310	0	10,795,760

### 3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
退職給付引当資産	3,785,760	—	—	(3,785,760)
事故対策引当資産	3,700,000	—	(3,700,000)	—
財務調整積立資産	1,500,000	—	(1,500,000)	—
減価償却引当資産	1,010,000	—	(1,010,000)	—
関プロ総会準備引当資産	800,000	—	(800,000)	—
合計	10,795,760	(0)	(7,010,000)	(3,785,760)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	451,500	451,499	1
車輛運搬具	1,579,760	1,284,879	294,881
什器備品	16,395,782	14,378,500	2,017,282
合計	18,427,042	16,114,878	2,312,164